研究部だより

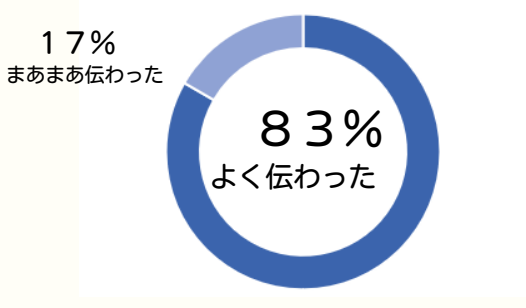
令和5年8月発行　ＮＯ．７

研究主題
「児童生徒が学びをつなぐ」
教育課程の編成

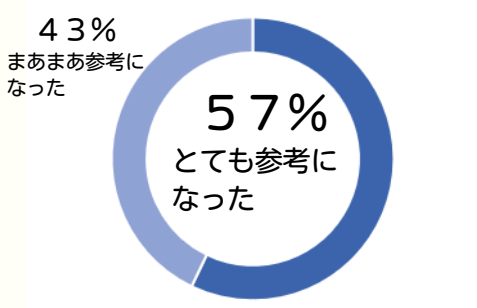
小学部授業研究会オンデマンド参加者から

夏休み中の２週間、７月に行われた小学部全校授業研究会のオンデマンド配信を行いました。オンデマンド配信は参加がしやすいこともあり、県外からも多数の参加者がありました。今回は、オンデマンド配信に参加された方からのアンケート結果をお伝えします。

オンデマンド配信で授業内容が伝わりましたか？

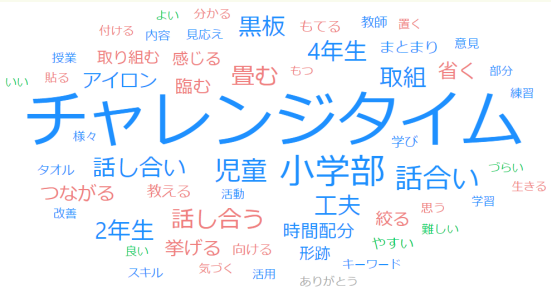


研究授業は参考になるところがありましたか？



オンデマンド配信参加者からの声

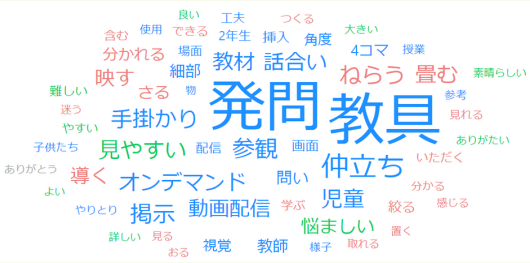
＊テキストマイニングアプリで意見を視覚化しました



【授業の感想、もっとこうしたらよい等の改善点について】
- 教師による「よくない例」の動画は、児童にとって興味がもて、分かりやすい内容だった。
- 動画を見て児童自身の言葉で改善点を挙げていたことが良かった。
- 小学部４年生の話合い活動は提案性のある授業で見応えがあった。話合いを行うための動画やカード等、支援の工夫がされているからだと感じました。
- 目的を全員で共有し、全員が参加できるような話合いの方法について考える機会となった。

△チャレンジタイムを省くと、児童の取り組むべきことが精選され、まとまりのある活動になるように感じた。
△話合いで出たキーワードをどれくらい子どもたちが言葉として理解できているか確認するために、全員の前でタオル畳みをやってもらうなどすることで、具体的に教えるポイントを考えられるようになると感じた。
△２年生に分かりやすく教えるためのポイントの話合いと練習に焦点を絞った授業展開でもいいように思った。
△スキルとして身に付ける重要性と、授業として何をゴールにするか、何を身に付けさせたいかということがもっとはっきりするといいのではと感じた。
△２年生に教えたいことを多数決で決めるのではなく、自分たちが頑張ってきたことや重要なことなどの視点から意見を選ぶことができればいいと感じた。
△手アイロンでは、どの部分を手アイロンしているか分からなくなる児童がいるように感じた。手アイロンした部分を厚紙などで隠す工夫があると、分かりやすいのではないだろうか。
△話合いのグループ編成は係ごとの方が同じ目的意識をもち、本番を想定して話合うことにつながると思った。
△話し合った内容を一つに絞るのではなく、様々な意見を出し合い、共有してもよかったと思う。

【オンデマンド配信について】
- ４画面配信はとても見やすかった。特に、掲示物が大きく見られるのが分かりやすかった。
- ４画面の映像は、授業全体と、活動の細部（児童と教師のやりとり）を見ることができ、参観しやすかった。
- ４画面の動画で、掲示物の画像も挿入されていて見やすかった。
- 様々な角度から児童の様子、教師の支援の仕方が見られて良かった。
- 夏休み中は時間がとれ、オンデマンド配信をじっくりと参観することができるため、ありがたい。
- 遠方でなかなか行くことが難しい学校の実践についてオンデマンド配信のおかげで学ぶことができて良かった。
- ４画面表示でどの角度からも見られたので、どこを見てよいか迷いました。配信技術は参考にしたいです。



オンデマンド配信に向けては撮影側が全体を映したり、教師や児童に焦点を当てたりなど授業展開に応じて撮影できるよう、事前に誰がどこを撮影するか考え実施しました。また、音声をどこから撮るかも大事な点でした。本校は、4台のｉＰａｄと音声を録音する機器で撮影し、ルマフュージョンというアプリで編集しています。